



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド
 コード番号 5384 URL <http://www.fujiinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

TEL 052-503-8181

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	20,765	△20.4	1,058	△74.8	1,345	△69.5	768	△72.1
25年3月期第3四半期	26,090	24.2	4,208	272.0	4,412	273.7	2,757	357.6

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,674百万円 (△49.8%) 25年3月期第3四半期 3,337百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	29.63	—
25年3月期第3四半期	106.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	46,692	41,794	89.4	1,609.33
25年3月期	49,337	41,030	83.1	1,579.79

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 41,744百万円 25年3月期 40,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△13.6	1,400	△60.0	1,500	△61.0	900	△59.5	34.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	30,699,500 株	25年3月期	30,699,500 株
26年3月期3Q	4,760,499 株	25年3月期	4,760,353 株
26年3月期3Q	25,939,063 株	25年3月期3Q	25,939,150 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、米国、欧州、日本など主要先進国で景気回復の兆しが見られる一方で、中国など新興国では経済成長の鈍化が見られ、全般的に停滞色が強い状況となりました。

世界半導体市場は、スマートフォンやタブレット(多機能携帯端末)関連需要は拡大したものの、従来型パソコンの世界出荷台数が前年同期比で大幅な減少となり、引き続き低調な状況となりました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めましたが、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高20,765百万円(前年同期比20.4%減)となりました。また、利益面では、営業利益1,058百万円(前年同期比74.8%減)、経常利益1,345百万円(前年同期比69.5%減)、四半期純利益768百万円(前年同期比72.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、低調な半導体市場を背景にしたシリコンウェハー向け製品、CMP向け製品の販売減少、および非半導体関連の一般工業用研磨材の販売減少により、売上高は12,231百万円(前年同期比36.2%減)となり、セグメント利益(営業利益)は1,809百万円(前年同期比64.4%減)となりました。

北米につきましては、低調な半導体市場の影響を受け、売上高は現地通貨ベースでは減少しましたが、為替が円安に推移したことから3,253百万円(前年同期比9.9%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は130百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

アジアにつきましては、従来型パソコンの出荷減少の影響はあったものの、アルミディスク向け製品の拡販努力により売上が増加したこと、臺灣福吉米股份有限公司(FUJIMI TAIWAN LIMITED)がCMP向け製品の販売を開始したことから、売上高は4,087百万円(前年同期比60.4%増)となりました。しかしながら、FUJIMI TAIWAN LIMITEDにおける工場立ち上げ費用が高かったことから、セグメント損失(営業損失)が85百万円(前年同期はセグメント損失104百万円)となりました。

欧州につきましては、シリコンウェハー向け製品やCMP向け製品の販売が減少したことから売上高は1,192百万円(前年同期比16.2%減)、セグメント利益(営業利益)は58百万円(前年同期比49.9%減)となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

当社グループの主力となるシリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場の需要減少の影響を受け、ラッピング材の売上高は2,220百万円(前年同期比4.6%減)、ポリシング材の売上高は4,016百万円(前年同期比11.4%減)となりました。

CMP向け製品につきましては、アジア市場では最先端ロジックデバイス向け製品の販売が堅調でありましたが、低調な半導体市場全体の影響により、売上高は6,164百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、アルミディスク向け次世代製品の拡販により、売上高は1,911百万円(前年同期比40.9%増)となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、第2四半期連結累計期間においては回復の動きが見られたものの、第3四半期連結会計期間に入り一部在庫調整の動きが見られ、売上高は4,921百万円(前年同期比50.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、2,645百万円減少し、46,692百万円となりました。これは、現金及び預金が1,449百万円、原材料及び貯蔵品が642百万円、有価証券が604百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、3,408百万円減少し、4,898百万円となりました。これは、未払法人税等が1,551百万円、その他の流動負債が920百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、763百万円増加し、41,794百万円となりました。これは、為替換算調整勘定の貸方残が894百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済に減速感があり半導体市場の先行きが不透明であることから、平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した予想値を据え置いております。今後、業績予想値の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,023	12,573
受取手形及び売掛金	6,021	6,115
有価証券	5,109	4,505
商品及び製品	2,673	2,633
仕掛品	1,114	981
原材料及び貯蔵品	2,068	1,426
繰延税金資産	610	323
その他	285	763
貸倒引当金	△31	△30
流動資産合計	31,877	29,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,197	8,252
その他（純額）	7,248	7,038
有形固定資産合計	15,445	15,291
無形固定資産		
無形固定資産	608	615
投資その他の資産		
投資有価証券	115	133
繰延税金資産	18	31
その他	1,470	1,525
貸倒引当金	△198	△198
投資その他の資産合計	1,406	1,492
固定資産合計	17,460	17,399
資産合計	49,337	46,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,173	2,665
未払法人税等	1,605	54
賞与引当金	679	199
役員賞与引当金	—	15
その他	2,610	1,690
流動負債合計	8,068	4,625
固定負債		
繰延税金負債	31	22
退職給付引当金	172	225
その他	34	25
固定負債合計	238	273
負債合計	8,307	4,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,069
利益剰余金	37,160	37,021
自己株式	△5,711	△5,711
株主資本合計	41,272	41,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	57
為替換算調整勘定	△339	554
その他の包括利益累計額合計	△294	611
新株予約権	52	49
純資産合計	41,030	41,794
負債純資産合計	49,337	46,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	26,090	20,765
売上原価	16,159	13,867
売上総利益	9,931	6,897
販売費及び一般管理費	5,723	5,839
営業利益	4,208	1,058
営業外収益		
受取利息	44	52
為替差益	108	221
その他	68	52
営業外収益合計	222	326
営業外費用		
減価償却費	10	8
固定資産除売却損	6	30
その他	0	0
営業外費用合計	17	39
経常利益	4,412	1,345
特別利益		
新株予約権戻入益	3	2
特別利益合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	4,416	1,347
法人税、住民税及び事業税	1,802	313
法人税等調整額	△160	265
法人税等合計	1,641	579
少数株主損益調整前四半期純利益	2,774	768
少数株主利益	17	—
四半期純利益	2,757	768

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,774	768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	11
為替換算調整勘定	565	894
その他の包括利益合計	563	905
四半期包括利益	3,337	1,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,306	1,674
少数株主に係る四半期包括利益	31	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	19,158	2,959	2,548	1,424	26,090	—	26,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,087	738	51	—	3,878	△3,878	—
計	22,245	3,698	2,600	1,424	29,969	△3,878	26,090
セグメント利益又は 損失(△)	5,078	120	△104	116	5,210	△1,002	4,208

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,002百万円は、セグメント間取引消去103百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,074百万円及び棚卸資産の調整額△32百万円であり、全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「アジア」セグメントにおいて、平成23年8月に設立したFUJIMI TAIWAN LIMITEDの工場・開発センター設備の新設を行っております。これにより、当第3四半期連結会計期間末の同報告セグメントの資産の金額は、前連結会計年度末に比べ、2,991百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	12,231	3,253	4,087	1,192	20,765	—	20,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,617	831	95	—	4,544	△4,544	—
計	15,849	4,084	4,182	1,192	25,309	△4,544	20,765
セグメント利益又は 損失(△)	1,809	130	△85	58	1,913	△854	1,058

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△854百万円は、セグメント間取引消去186百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△969百万円及び棚卸資産の調整額△71百万円であり、全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。